

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東北外語観光専門学校
設置者名	学校法人東北外語学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める授業時数又は基準単位数	配置困難
文化・教養 専門課程	英語科総合英語コース キャリア専攻	夜・通信	60 時間	160 時間	
	英語科総合英語コース 観光サービス専攻	夜・通信	60 時間	160 時間	
	英語科総合英語コース 英語インストラクター専攻	夜・通信	60 時間	160 時間	
	英語科総合英語コース スーパーイングリッシュ専攻	夜・通信	60 時間	160 時間	
	英語科	夜・通信	180 時間	160 時間	
	トラベル科 国際トラベル専攻	夜・通信	180 時間	160 時間	
	トラベル科 トラベル専攻	夜・通信	180 時間	160 時間	
	エアライン科 キャビンアテンダント専攻	夜・通信	180 時間	160 時間	
	エアライン科 グランドスタッフ専攻	夜・通信	180 時間	160 時間	
	ビジネスデザイン科	夜・通信	180 時間	160 時間	
国際コミュニケーション科	夜・通信	180 時間	160 時間		
(備考)					
<p>■募集停止により、令和4年度1年生に在籍者がいない「学科・コース・専攻」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語科総合英語コース：キャリア専攻、観光サービス専攻、英語インストラクター専攻、スーパーイングリッシュ専攻 ・トラベル科：国際トラベル専攻、トラベル専攻 <p>■令和4年度4月に新設した「学科」（完成年度に達していない）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際コミュニケーション科 <p>■令和4年度4月現在在籍者がいない「学科・コース」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年専科：英語コース、トラベルコース <p>※本年度1年専科は在籍者がいないため、上記には計上しておりません。</p> <p>■「英語科」について、令和4年4月入学生から専攻廃止、単独の学科扱いとなる。</p>					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.tohokugaigo.ac.jp/jouhoukoukai/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東北外語観光専門学校
設置者名	学校法人東北外語学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校内にて希望者は閲覧が可能

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社顧問	2020.12.18 から 2023.12.17 まで	コンプライアンス
非常勤	建築士	2020.12.18 から 2023.12.17 まで	施設設備管理
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東北外語観光専門学校
設置者名	学校法人東北外語学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>講義概要(シラバス)の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前の授業担当者対象の連絡会において配布し、作成依頼している。</p> <p>次年度のシラバスの提出期限は原則年度内に行っている。また公表時期は第一回目の授業時に科目ごとに授業担当者が学生へ公表している。またHPでも公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.tohokugaigo.ac.jp/jouhoukoukai/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>講義概要に記載された成績評価の方法・基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。</p> <p>原則的には、成績の評点は、期末試験、レポート等により100点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の4分の3以上の出席及び60点以上の得点を必要とする。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

履修科目の成績評価を点数化（100点満点）し、全科目の合計点の平均を算出する。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<http://www.tohokugaigo.ac.jp/jouhoukoukai/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<http://www.tohokugaigo.ac.jp/jouhoukoukai/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東北外語観光専門学校
設置者名	学校法人東北外語学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.tohokugaigo.ac.jp/jouhoukoukai/
収支計算書又は損益計算書	〃
財産目録	〃
事業報告書	〃
監事による監査報告（書）	〃

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	英語科 総合英語コース キャリア専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,920 単位時間/単位	60 単位時間 /単位	900 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			960 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人の内数		3 人	0 人	4 人	20 人	24 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>講義概要（シラバス）の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前の授業担当者対象の連絡会において配布し、作成依頼している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>講義概要に記載された成績評価の方法・基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。</p> <p>原則的には、成績の評点は、期末試験、レポート等により100点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の4分の3以上の出席及び60点以上の得点を必要とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>学生一人一人に対して、学習相談や資格取得、心身の健康相談、就職支援、学校生活全般について、クラス担任を中心に支援していく。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	0人 (0%)	8人 (50%)	8人 (50%)
（主な就職、業界等） ホテル、通信、建築			
（就職指導内容） 授業内での履歴書作成・業界研究、面接指導。放課後は個別に指導。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 実用英語技能検定、TOEIC等			
（備考） 募集停止により、令和4年度は2年生のみ在籍			

中途退学の現状（数値は英語科全体を記載 2年次より専攻に分かれるため）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
90人	13人	14.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更、入学前からの精神的な疾患による集団環境の不適応など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談の実施。スクールカウンセラーの活用。出席率状況の家庭への送付等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	英語科 総合英語コース 観光サービス専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1, 920 単位時間/単位	120 単位時間 /単位	840 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			960 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人の内数		19 人	0 人	4 人	20 人	24 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 講義概要 (シラバス) の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前の授業担当者対象の連絡会において配布し、作成依頼している。
成績評価の基準・方法
(概要) 講義概要に記載された成績評価の方法・基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。 原則的には、成績の評点は、期末試験、レポート等により100点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の4分の3以上の出席及び60点以上の得点を必要とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。
学修支援等
(概要) 学生一人一人に対して、学習相談や資格取得、心身の健康相談、就職支援、学校生活全般について、クラス担任を中心に支援していく。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	1人 (8.3%)	6人 (50%)	5人 (41.7%)
(主な就職、業界等) ホテル、教育（英会話スクール、学習塾）、空港（スタッフ）			
(就職指導内容) 授業内での履歴書作成・業界研究、面接指導。放課後は個別に指導。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 実用英語技能検定、TOEIC等			
(備考) 募集停止により、令和4年は2年生のみ在籍			

中途退学の現状（数値は英語科全体を記載 2年次より専攻に分かれるため）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
90人	13人	14.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更、入学前からの精神的な疾患による集団環境の不適応など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談の実施。スクールカウンセラーの活用。出席率状況の家庭への送付等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	英語科 総合英語コース 英語インストラクター専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1, 920 単位時間/単位	60 単位時間 /単位	900 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			960 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人の内数		5 人	0 人	4 人	19 人	23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>講義概要（シラバス）の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前の授業担当者対象の連絡会において配布し、作成依頼している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>講義概要に記載された成績評価の方法・基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。</p> <p>原則的には、成績の評点は、期末試験、レポート等により100点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の4分の3以上の出席及び60点以上の得点を必要とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>学生一人一人に対して、学習相談や資格取得、心身の健康相談、就職支援、学校生活全般について、クラス担任を中心に支援していく。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	1人 (14.3%)	4人 (57.1%)	2人 (28.6%)
(主な就職、業界等) 教育、飲食			
(就職指導内容) 授業内での履歴書作成・業界研究、面接指導。放課後は個別に指導。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 実用英語技能検定、TOEIC等			
(備考) 募集停止により、令和4年は2年生のみ在籍			

中途退学の現状（数値は英語科全体を記載 2年次より専攻に分かれるため）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
90人	13人	14.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更、入学前からの精神的な疾患による集団環境の不適応など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談の実施。スクールカウンセラーの活用。出席率状況の家庭への送付等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	英語科 総合英語コース スーパーイングリッシュ専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,920 単位時間/単位	60 単位時間 /単位	900 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			960 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人の内数		6 人	0 人	4 人	17 人	21 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 講義概要 (シラバス) の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前の授業担当者対象の連絡会において配布し、作成依頼している。
成績評価の基準・方法
(概要) 講義概要に記載された成績評価の方法・基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。 原則的には、成績の評点は、期末試験、レポート等により100点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の4分の3以上の出席及び60点以上の得点を必要とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。
学修支援等
(概要) 学生一人一人に対して、学習相談や資格取得、心身の健康相談、就職支援、学校生活全般について、クラス担任を中心に支援していく。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	1人 (12.5%)	6人 (75%)	1人 (12.5%)
(主な就職、業界等) 教育、通信、運送			
(就職指導内容) 授業内での履歴書作成・業界研究、面接指導。放課後は個別に指導。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 実用英語技能検定、TOEIC 等			
(備考) 募集停止により、令和4年は2年生のみ在籍			

中途退学の現状（数値は英語科全体を記載 2年次より専攻に分かれるため）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
90人	13人	14.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更、入学前からの精神的な疾患による集団環境の不応など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談の実施。スクールカウンセラーの活用。出席率状況の家庭への送付等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	英語科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1, 920 単位時間/単位	60 単位時間 /単位	900 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			960 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人の内数		29 人	0 人	4 人	16 人	20 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>講義概要（シラバス）の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前の授業担当者対象の連絡会において配布し、作成依頼している。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>講義概要に記載された成績評価の方法・基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。</p> <p>原則的には、成績の評点は、期末試験、レポート等により100点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の4分の3以上の出席及び60点以上の得点を必要とする。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>学生一人一人に対して、学習相談や資格取得、心身の健康相談、就職支援、学校生活全般について、クラス担任を中心に支援していく。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) 令和4年度4月入学生から専攻の区分を廃止し、単独の学科となる			

中途退学の現状（数値は英語科全体を記載）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ビジネスデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,800 単位時間/単位	単位時間 /単位	1,800 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,800 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		30人	0人	1人	20人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>講義概要（シラバス）の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前の授業担当者対象の連絡会において配布し、作成依頼している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>講義概要に記載された成績評価の方法・基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。</p> <p>原則的には、成績の評点は、期末試験、レポート等により100点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の4分の3以上の出席及び60点以上の得点を必要とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>学生一人一人に対して、学習相談や資格取得、心身の健康相談、就職支援、学校生活全般について、クラス担任を中心に支援していく。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 (100%)	2人 (11.1%)	9人 (50%)	7人 (38.9%)
（主な就職、業界等） 運輸・通信、サービス、小売等			
（就職指導内容） 授業内での履歴書作成・業界研究、面接指導。放課後は個別に指導。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 日商簿記検定、MOS 検定、リテールマーケティング			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	2人	5%
（中途退学の主な理由） 体調不良による学習意欲低下、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談の実施。スクールカウンセラーの活用。出席率状況の家庭への送付等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養		文化・教養 専門課程	エアライン科 キャビンアテンダント専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,920 単位時間/単位		120 単位時間 /単位	1,800 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
				1,920 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60 人の内数		8 人	0 人	4 人	23 人	27 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>講義概要（シラバス）の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前の授業担当者対象の連絡会において配布し、作成依頼している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>講義概要に記載された成績評価の方法・基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。</p> <p>原則的には、成績の評点は、期末試験、レポート等により100点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の4分の3以上の出席及び60点以上の得点を必要とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>学生一人一人に対して、学習相談や資格取得、心身の健康相談、就職支援、学校生活全般について、クラス担任を中心に支援していく。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	10人 (66.7%)	5人 (33.3%)
(主な就職、業界等) 航空会社（客室乗務員）、旅客ハンドリング会社（グランドスタッフ）			
(就職指導内容) 授業内での履歴書作成・業界研究、面接指導。放課後は個別に指導。			
(主な学修成果（資格・検定等）) AXESS 検定、実用英語技能検定、TOEIC、秘書検定、サービス介助士等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状（エアライン科全体を記載）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50人	5人	10%
(中途退学の主な理由) 進路変更など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談の実施。スクールカウンセラーの活用。出席率状況の家庭への送付等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	エアライン科 グランドスタッフ専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類			
	2 年	昼	1,980 単位時間/単位	120 単位時間 /単位	1,800 単位時間 /単位	実習 単位時間 /単位	実験 単位時間 /単位
				1,920 単位時間/単位			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人の内数	8人	0人	4人	24人	28人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>講義概要（シラバス）の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前の授業担当者対象の連絡会において配布し、作成依頼している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>講義概要に記載された成績評価の方法・基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。</p> <p>原則的には、成績の評点は、期末試験、レポート等により100点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の4分の3以上の出席及び60点以上の得点を必要とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>学生一人一人に対して、学習相談や資格取得、心身の健康相談、就職支援、学校生活全般について、クラス担任を中心に支援していく。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 （100%）	0人 （0%）	11人 （78.6%）	3人 （21.4%）
（主な就職、業界等） 旅客ハンドリング会社、航空会社、貨物ハンドリング会社、教育業界			
（就職指導内容） 授業内での履歴書作成・業界研究、面接指導。放課後は個別に指導。			
（主な学修成果（資格・検定等）） AXESS 検定、実用英語技能検定、TOEIC、秘書検定、サービス介助士等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状（エアライン科全体を記載）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50人	5人	10%
（中途退学の主な理由） 進路変更など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談の実施。スクールカウンセラーの活用。出席率状況の家庭への送付等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養		文化・教養 専門課程	トラベル科 トラベル専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,920 単位時間/単位		60 単位時間 /単位	840 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
				900 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40 人の内数		8 人	0 人	4 人	14 人	18 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>講義概要（シラバス）の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前の授業担当者対象の連絡会において配布し、作成依頼している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>講義概要に記載された成績評価の方法・基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。</p> <p>原則的には、成績の評点は、期末試験、レポート等により100点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の4分の3以上の出席及び60点以上の得点を必要とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>学生一人一人に対して、学習相談や資格取得、心身の健康相談、就職支援、学校生活全般について、クラス担任を中心に支援していく。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 （ 100%）	2人 （ 22.2%）	4人 （ 44.4%）	3人 （ 33.3%）
（主な就職、業界等） 旅行会社、鉄道サービス、警備			
（就職指導内容） 授業内での履歴書作成・業界研究、面接指導。放課後は個別に指導。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国内旅行業務取扱管理者、総合旅行業務取扱管理者、旅程管理士等			
（備考） 募集停止により、令和4年度は2年生のみ在籍			

中途退学の現状（トラベル科全体を記載）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	2人	7.7%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談の実施。スクールカウンセラーの活用。出席率状況の家庭への送付等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養		文化・教養 専門課程	トラベル科 国際トラベル専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1, 920 単位時間/単位		60 単位時間 /単位	840 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
				900 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40 人の内数		1 人	0 人	4 人	14 人	18 人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 講義概要 (シラバス) の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前の授業担当者対象の連絡会において配布し、作成依頼している。
成績評価の基準・方法
(概要) 講義概要に記載された成績評価の方法・基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。 原則的には、成績の評点は、期末試験、レポート等により 100 点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の 4 分の 3 以上の出席及び 60 点以上の得点を必要とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。
学修支援等
(概要) 学生一人一人に対して、学習相談や資格取得、心身の健康相談、就職支援、学校生活全般について、クラス担任を中心に支援していく。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 （100%）	0人 （0%）	4人 （80%）	1人 （20%）
（主な就職、業界等） 旅行会社、鉄道サービス、警備			
（就職指導内容） 授業内での履歴書作成・業界研究、面接指導。放課後は個別に指導。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国内旅行業務取扱管理者、総合旅行業務取扱管理者、旅程管理士等			
（備考） 募集停止により、令和4年は2年生のみ在籍			

中途退学の現状（トラベル科全体を記載）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	2人	7.7%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談の実施。スクールカウンセラーの活用。出席率状況の家庭への送付等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	国際コミュニケーション科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,800 単位時間/単位	単位時間 /単位	900 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			900 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数 0人の内数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		28人	0人	1人	16人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>講義概要（シラバス）の作成については、共通フォーマットを使用し、新年度開始前の授業担当者対象の連絡会において配布し、作成依頼している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>講義概要に記載された成績評価の方法・基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の認定を行う。</p> <p>原則的には、成績の評点は、期末試験、レポート等により100点法で評価し、単位を取得するためには、所定の授業時間数の4分の3以上の出席及び60点以上の得点を必要とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業は当該学年の出席と学年の成績評価を基に、所定の単位数以上の取得をもって、学年末に審議の上、学校長が認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>学生一人一人に対して、学習相談や資格取得、心身の健康相談、就職支援、学校生活全般について、クラス担任を中心に支援していく。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （ 0%）	0人 （ 0%）	0人 （ 0%）	0人 （ 0%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 令和4年4月開講につき卒業生なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談の実施。スクールカウンセラーの活用。出席率状況の送付等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
英語科	160,000 円	620,000 円	160,000 円	施設維持費
1年専科 英語コース	160,000 円	620,000 円	160,000 円	施設維持費
トラベル科	160,000 円	620,000 円	160,000 円	施設維持費
エアライン科	160,000 円	620,000 円	160,000 円	施設維持費
1年専科 トラベルコース	160,000 円	620,000 円	160,000 円	施設維持費
ビジネスデザイン科	100,000 円	450,000 円	20,000 円	施設維持費
国際コミュニケーション科	100,000 円	450,000 円	20,000 円	施設維持費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
http://www.tohokugaigo.ac.jp/jouhoukoukai/
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
<p>本校の学校関係者評価は、本校と直接関係のある学外の方を評価者として選任するとともに「学校関係者評価委員会」を設置して行います。委員会は学校評価を適切かつ客観性や透明性を高めて行うために、関連業界の関係者や本校卒業生等から複数で構成します。</p> <p>実施方法については、「自己評価」の結果を「学校関係者委員会」に報告し、関連業界の専門的な知見からのアドバイスや、様々な観点からご意見を頂戴して、教育活動並びに学校運営等の質の向上に努めていきたいと考えています。</p> <p>■実施方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実施時期：2022 年度 6 月上旬 2. 実施回数：年 1 回 3. 実施場所：本校舎 4. 実施体制 (学校関係者委員及び事務局の構成) <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校評価委員会 関連業界、卒業生、また本校と密接に関係する方などから 3 名以上で構成する。 <p>(※任期は 2 年)</p> <p>【学校関係者評価委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光業界関係者 ・ ホテル業界関係者 ・ 語学教育関係者 ・ 卒業生 <p>【事務局】</p> <p>校長 教務部 副校長 教務部長</p>

事務局 事務局長 法人本部長		
5. 実施内容：自己評価結果の説明および学校関係者委員会からの評価		
6. 評価結果の公表方法：当該報告書を本校ホームページに掲載して公表		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公立大学法人 宮城大学 准教授 国際交流・留学センター 副センター長	2022年4月1日から 2024年3月31日まで	語学教育関係者
東日本急行バス株式会社 係長	2022年4月1日から 2024年3月31日まで	観光業界関係者
社のホテル仙台 社員	2022年4月1日から 2024年3月31日まで	ホテル業界関係者
東北外語学園 同窓会 幹事長	2022年4月1日から 2024年3月31日まで	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
http://www.tohokugaigo.ac.jp/jouhoukoukai/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

http://www.tohokugaigo.ac.jp/jouhoukoukai/

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H104391010063
学校名	東北外語観光専門学校
設置者名	学校法人東北外語学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		47人	47人	47人
内 訳	第Ⅰ区分	34人	32人	
	第Ⅱ区分	—	—	
	第Ⅲ区分	—	—	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				47人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
		年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定			0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下）			0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況			0人	0人
「警告」の区分に連続して該当			—	0人
計			—	0人
(備考)				

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
	年間	前半期	後半期	0人
			0人	0人

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
GPA等が下位4分の1		—	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。